

シラバス

指定番号

商号又は名称： 株式会社 ニチイ学館

| | | | |
|---------------------------------------|---|-------------------|-------------------|
| 科目番号・科目名 | (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 | | |
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を發揮してもらいながらその人の住宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 基本知識の学習の後に、生活支援技術等の学習を行い最後に事例に基づく総合的な演習を行う。 | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 |
| ⑨入浴、清潔保持に関連した こころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | | |
| ⑩排泄に関連したこころと体 のしくみと自立に向けた介護 | 6 | | |
| ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた 介護 | 6 | | |
| ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期 介護 | 6 | | |
| ウ 生活支援技術演習 ⑬介護過程の基礎的理解 | 6 | | |
| (合計時間数) | | | |

| | |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号

商号又は名称： 株式会社 ニチイ学館

| | | | | |
|-------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 科目番号・科目名 | (9) こころとからだのしくみと生活支援技術 | | | |
| 指導目標 | <ul style="list-style-type: none"> 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を發揮してもらいながらその人の住宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 基本知識の学習の後に、生活支援技術等の学習を行い最後に事例に基づく総合的な演習を行う。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ⑩総合生活支援技術演習 | 6 | | | <p>(講義内容・通信学習課題の概要等)</p> <p>・事例の提示→こころと体の力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題</p> <p>・講義事例：高齢（80歳）要支援3、認知症</p> <p>・演習事例：1 高齢（84歳）要支援2、認知症（帰宅願望／無気力） 2 高齢（73歳）要支援2、右片麻痺、糖尿病、独居</p> |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | | | | |

| | |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

平成 年 月 日現在

シラバス

指定番号

商号又は名称： 株式会社 ニチイ学館

| | | | | |
|---------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 科目番号・科目名 | (10) 振り返り | | | |
| 指導目標 | 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。 就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図る。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①振り返り | 3 | | | (講義内容・通信学習課題の概要等) 研修を通して学んだこと・今後継続して学ぶべきこと・根拠に基づく介護についての要点 |
| ②就業への備えと研修修了後における実例 | 1 | | | (講義内容・通信学習課題の概要等) 継続的に学ぶべきこと・研修修了後における継続的な研修について 具体的にイメージ出来るような事業所等における実例 (OJT、 Off-JT) を紹介 キャリアアップに関する国の考え方 |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | | | | |

| | |
|------------|--|
| 使用する機器・備品等 | |
|------------|--|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。